
岐阜県立岐阜北高等学校

校長 高木俊明
学校住所 岐阜市則武清水 1841-11 電話 058-231-6628

会議の名称 岐阜県立岐阜北高等学校評議員会（第1回）

会議の構成

委員	浅野 美代子	いづみ第2幼稚園長
	岡田 忍	同窓会副会長
	小林 月子	岐阜大学名誉教授
	鈴木 雅雄	則武連合自治会副会長
	谷藤 邦彦	元PTA会長
		(委員名は五十音順)
学校側	高木 俊明	校長
	森 康次	PTA会長
	村山 寛和	事務部長
	村橋 裕之	教頭
	森川 賢二	教頭
	川瀬 隆	教務主任
	笠井 寛	進路指導部長
	川島 隆史	生徒指導部長
	今井 健治	特別活動部長

- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民代表や関係機関等代表および企業関係者等から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、「開かれた学校づくり」「活力ある学校づくり」「規律ある学校づくり」を推進する。
- 4 会議の開催 平成30年6月14日(木) 14:00～16:10 岐阜北高等学校(校長室)
委員4人と学校側8人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 開式 (14:00～14:15)
 - ・ 学校長挨拶
 - ・ 委嘱書交付
 - ・ 自己紹介
 - (2) 授業参観及び施設見学 (14:15～14:50)
 - (3) 協議 (15:00～16:10)
 - ・ 授業参観、施設見学に関するご感想・ご意見
 - ・ 平成30年度の重点的な取り組み
 - ・ 各分掌における具体的な取り組み
 - ①教務部 ②進路指導部 ③生徒指導部 ④特別活動部
 - ・ 意見交換「本校教育に対する提言」
 - (4) その他
 - ・ 第2回学校評議員会について

(1) テーマ 授業参観、施設見学に対するご意見、ご感想等

意見 1 北高には、「チーム北高」というか、いろいろなタイプの生徒に対して集団で引き上げていく雰囲気がある。

学 校 来年度入学生から進学型単位制に移行していくので、様々な進路志望に対応して、よりきめ細やかな指導を行っていききたい。

(2) テーマ 本校の教育活動に対するご感想、ご提言等

意見 1 他の進学校と比較しての特徴は何か。

学 校 生徒との懇談を数多く持つなどして進路指導等を手厚くしている。また、放課後（19：30まで）や、土曜日、長期休業日には、学習室を開放しており、多くの生徒が利用している。

意見 2 中学生は、北高への志望理由として、進学実績以外の点では「雰囲気がよい」という意見をあげているように思う。学業以外に、学校行事などもしっかり取り組んでいて、楽しんでいる。子供は、自宅にいるより、高校にいる方が楽しく、居心地がいいと言っている。

学 校 生徒会、委員会活動の指導等、今後とも継続していききたい。

意見 3 真面目でよい生徒が多い。今、世界は急速に変化しているので、不確実性の時代を生き延びるには、自分で情報を得て、思考し、役割を果たしていくことが実際に「できる人間」である。「どう生きるんだ？」と投げかけること。そのために、自分で決定できて打たれ強い人になる。これからは、問題解決能力がある人しか生き残れない。何度でもチャレンジできる人が本当に役に立つ人となる。世界に目を向けて、実践力ある生徒を育てていただきたい。

学 校 授業や国際交流活動などを通じて、幅広い視野を持たせるよう指導していききたい。

意見 4 私の所でも、北高出身者が活躍している。これからも根っ子の部分を育てる教育を行って、送り出してほしい。様々な職業があるが、どれも専門性がより問われていく時代になってきている。また、仕事を進めていく上で、意欲と協調性があることがとても大切である。そのような生徒を育ててほしい。

学 校 今後も進路指導、ホームルーム活動や部活動の中で留意して、そのような生徒を育てていきたい。

6 会議のまとめ

第1回学校評議員会では、授業参観、施設見学後、学校側から今年度の学校経営方針や具体的な活動を説明し、本校の教育活動に対するご意見、ご提言をいただいた。概ね、生徒の様子についてはよいご意見をいただいた。

いただいたご意見を真摯に受け止め、今後も地域の信頼に応える魅力ある学校づくりに邁進していききたい。